

企業名： IHI

1. この会社が目指す姿が理解できるか

株式会社 IHI の経営理念は『技術を持って社会の発展に貢献する』、「人材こそが最大かつ唯一の財産である」という2つを掲げている。造船からスタートしたこの会社は今では船に搭載する機械づくりから各種産業用の機械設備、プラントの製造・建設へと発展し巨大なインフラストラクチャーづくりにまで及んでいる。現代には欠かせないこれらの機械や設備を製造することで社会に貢献し、役立っている。近年は環境への配慮が重視され、時代の変化にも対応している。自然と技術が調和している社会の創造を目指している。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できる。今日我々が当たり前のように使用している電車や飛行機、物資を搬送するための船などに搭載されているものがなくなると、特に海外からの輸入に大きく依存している日本にとっては危機的状況に陥ることが必須である。さらにインフラ設備にも大きく貢献している IHI がなくなってしまうと、インフラ整備が進まずその土地にいる人が不幸になってしまう。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

SDGs などの環境に配慮する姿勢から、従来のやり方からの変更を求められ、新型コロナウイルスによって民間航空会社などへの収支が悪くなく、IHI は時代に逆行しているように見える。しかし、きちんとどう対応していくかについて明記されている。1つ目は脱二酸化炭素・循環型社会都会的で安全な自律分散コミュニティを実現する「カーボンソリューション」、2つ目は強靱で経済性・環境性に富んだ社会インフラの開発による「保全・防災・減災」

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

人的資本の価値向上を目指している記述はあるものの具体的なプランはないため達成できるかどうかはわからない。IHI は長い間、年功序列に代表されるような極めて日本的な人事政策をとっていたため今の時代に追いついてなく優秀な人材であっても、年齢が高くなならない限りいいポジションにつけないと社長が述べている。会社としての経営方針にも「人材こそが最大かつ勇逸の財産である」と書かれているおり社外取締役員の松田さんも社長自らがとりに行く勢いで接するべきだと述べている。自分がこの企業に就職できたとしていいスキルを持っていたとしても年功序列の風習のため活躍できない可能性があるため達成できると断言できない。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

基本的にはわかりやすかったため、特に改善する必要性は感じないと思われる。